

# そうそう農林 NEWS No. 7

令和5年11月 福島県相双農林事務所



ブロッコリー（南相馬市小高区）

## 第64回福島県農業賞表彰式が行われました！

令和5年9月12日（火）、福島市の杉妻会館において、「第64回福島県農業賞表彰式」が開催され、相双地方から2団体が表彰されました。今後も益々の御活躍と御発展を期待しています！

### 農林水産大臣賞 （農業改善部門 最高賞）

#### 第64回 福島県農業賞表彰式



左：吉田代表取締役  
中央：内堀知事  
右：吉田取締役

### （有）I Love ファームおだか（南相馬市小高区）

- 栽培品目…ブロッコリー（59ha）
- 特徴的な取組内容
  - ・全国のグループファームと提携した周年供給体制の構築
  - ・遊休農地を活用した大規模栽培
  - ・担い手の育成
  - ・大型農業機械やスマート農業を取り入れた効率的な農業の展開
- 受賞理由
 

相双地方の重要な振興作物に位置づけられているブロッコリーの生産に努め、被災地域の農業振興に尽力されていること など
- 代表者挨拶
 

吉田代表取締役「より一層の研鑽と実践に励み、地域農業の振興と農村の発展に向け地域社会に貢献していきたい。」

### 復興・創生特別賞

#### 第64回 福島県農業賞表彰式



左：猪狩前部会長  
右：内堀知事

### JA 福島さくらふたば地区檜葉町甘藷生産部会（檜葉町）

- 栽培品目…サツマイモ
- 設立背景
 

檜葉町をサツマイモの一大産地にすることを目指し、町内の農業者が中心となり、令和2年に設立。
- 受賞理由
 

東京電力第一原子力発電所の事故で全町避難となり営農を休止。避難指示解除後も農業再生に厳しい状況が続く中、「1aから始める産地づくり」をキャッチフレーズに小規模から栽培を開始。年々少しずつ栽培面積・会員数を増加させてきたこと など
- 代表者挨拶
 

猪狩前部会長「福島県農業賞を受賞できてとても光栄。今後も賞に恥じぬよう、よりよいサツマイモを作っていきたい。」

[農業振興普及部・双葉農業普及所]

## 相馬市に大規模カントリーエレベーター及び米倉庫が完成！



そうま日立木  
カントリーエレベーター



令和5年産米の受入

ふくしま未来農業協同組合では、相馬地方の米の広域的な集出荷と高付加価値産地づくりを目的として、「そうま日立木カントリーエレベーター\*及び自動ラック式倉庫」を整備しました。本施設は、令和3年度から福島県高付加価値産地展開支援事業を活用して整備が進められ、令和5年8月末に施設が完成し、9月から米の受入を行っています。

カントリーエレベーターでは、県内最大規模となる約3,900t（水田539haの収穫量に相当）を処理することができ、併設する自動ラック式倉庫では、約1,200tの米を品質を保ちながら収容できます。当施設が拠点となり、楡葉町に整備のパックご飯加工施設をはじめとした流通・加工との結びつきを強化することで、主食用米の安定した生産・販売による産地づくりがより一層加速するものと期待されます。

当所においては、引き続き、需要に応じた農作物の安定生産・供給に向け、多様な担い手の確保・育成や、新技術の普及・推進

等に取り組み、産地振興に努めてまいります。

※カントリーエレベーター…米を始めとした穀類の乾燥、貯蔵、調製、出荷までを行うための共同利用施設。

[農業振興普及部]

## 高品質なぶどうが勢揃い！「第2回川内村ぶどう品評会」！

川内村では、平成27年から育苗ハウスを活用したぶどう栽培を行っており、令和5年現在、50戸近くの生産者がぶどう栽培に取り組んでいます。更なる栽培技術の研鑽と意欲向上を目的に、昨年度より品評会が開催されており、令和5年9月28日（木）、第2回「川内村ぶどう品評会」が川内村コミュニティセンターにおいて開催されました。

品評会には、村内の13名から「ピオーネ」や「シャインマスカット」など17品が出品され、川内村長、副村長、双葉農業普及所長、JA福島さくら職員らが、粒の大きさ、房形、色、糖度、食味などを審査し、入賞者を決定しました。

令和5年は3月からの高温で生育が前進したため、例年よりも前倒しの作業が求められ、生育期においても高温が続いたことで、日焼けや着色不良が発生するなど、ハウスぶどう栽培には大変厳しい



出品されたブドウの解説を  
聞きながら審査



(左) 双葉農業普及所長賞  
受賞者の秋元さん  
(右) 荻野所長

年となりました。しかし、出品されたぶどうは、いずれも着色良好で糖度が高く、生産者のぶどう栽培への努力が感じられました。授賞式後には、ぶどう生産についての講習会を開催し、出席した生産者は次年度のぶどうづくりに向けて意欲を高めていました。

当所では、引き続き、双葉管内の高品質ぶどうの生産に向けて、生産者を支援してまいります。

[双葉農業普及所]

## 上栃窪地区（南相馬市鹿島区）ほ場整備工事に着手しました！



整備前の様子



老朽化した水路

上栃窪地区は、南相馬市鹿島区北部の中山間地域に位置し、二級河川真野川沿いに広がる水田地帯です。

本地区では、農業振興に向けて令和3年度からほ場整備事業に取り組んでいます。ほ場の大きさを現在の

0.3haから0.7haに拡大する計画で、大区画化することにより担い手農家への集積の促進、経営規模の拡大や生産コストの縮減につながります。また、ほ場整備後の農地では、タマネギやブロッコリー、ネギといった高収益作物の導入なども計画されています。

これまで進めてきた、ほ場の大区画化、道路や用排水路の整備に必要な測量設計などの準備を経て、令和5年10月より工事に着手しました。より使いやすいほ場の整備に向け、畦畔の中ほどに小段を設け大きい高低差を緩和するなど、地元説明会などで得られた農家の皆さんの声を反映して工事を進めています。工事範囲には、電線や水道管などが多数張り巡らされているため、公衆災害等が発生しないよう十分配慮し、令和8年3月までに約70haの農地整備完了を目指し、工事を進めてまいります。

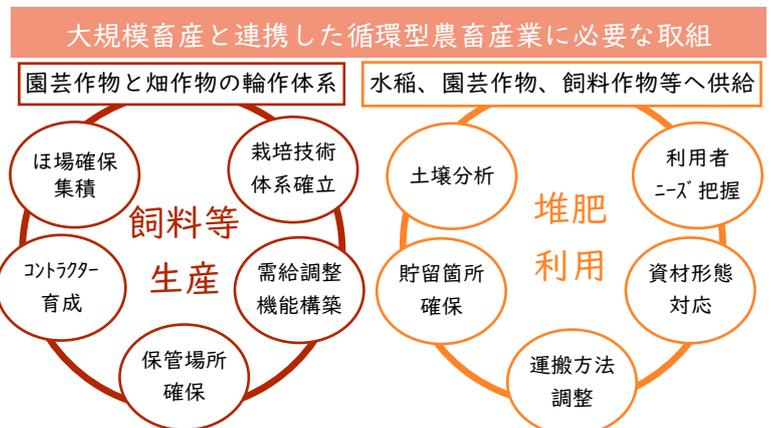
[農村整備部]

## 第1回双葉地域飼料生産・堆肥等利用推進検討会議を開催しました！

現在、双葉郡内では大規模な畜産施設の整備が進められており、畜産業の復興に向けた動きが加速しています。また、肥料価格が高騰しており、大規模畜産施設から生産される堆肥・液肥は、農作物の生産向上及び除染後農地の地力回復に有効な有機質肥料として期待が寄せられています。

当所では、令和5年8月31日（木）に

第1回双葉地域飼料生産・堆肥等利用推進検討会議を開催し、大規模畜産施設の飼料生産及び堆肥・液肥の流通に関する課題や要望を管内町村や団体、県機関と共有し、課題解決に向けた方策を



協議しました。会議の中では、「堆肥利用を増やしたい耕種農家は多いが、運搬・散布が難しい。」、「堆肥のストック施設が必要。」などの意見が出されました。

今後も本会議を定期的を開催して議論を深め、関係機関・団体と連携して、耕畜連携に向けた体制づくりを進めてまいります。 [双葉農業普及所]

## 福島県森林土木建設業協会主催の森林整備活動が行われました！

令和5年9月26日（火）、相馬市大洲地区の海岸防災林において、福島県森林土木建設業協会

### 下草刈り



(以下「協会」という。)が設立10周年を記念し奉仕活動を行いました。協会員含め総勢45名での活動となり、当所からは3名の職員が参加しました。

奉仕活動は、協会が平成27年度に植樹活動を実施した防災林(マツ林約0.2ha)での下草刈り作業となりました。

現地は草丈1m以上に伸びたカヤ類や雑灌木が著しく繁茂し、植栽地に進入するのが難しいほどでしたが、参加者は各々持ち寄った刈払機や鎌で手際よく刈り払い、午前中の活動で草木に覆い隠されていたマツがきれいに姿を現しました。

当所では、引き続き、海岸防災林の整備を進めてまいります。 [森林林業部]

### 記念撮影



## 第9回女性環境パトロールに参加しました！

令和5年10月17日（火）に、福島県建設業協会相馬支部主催の「女性環境パトロール隊」による第9回女性環境パトロールが行われ、当所から女性技術職員6名が参加しました。このパトロールは、建設工事現場の労働環境改善を図ることを目的として平成27年度から毎年実施しており、女性や家族、近隣住民の目線から、主に「整理・整頓・清潔・清掃」といった環境に関する管理状況をパトロールするものです。

今回は南相馬市内の現場2箇所について作業環境を確認しました。パトロール後には相馬労働基準監督署長の講評のほか、工事現場の環境改善や事故防止等についての意見交換も行われました。

本パトロールにて出された女性目線の意見を共有し、各現場事務所等の環境を向上させるなど快適な環境づくりに役立ててまいります。

[総務部]



(左から) 岡田農村整備部主幹、小久保所長、参加者の皆さん



パトロールの様子  
(左)福浦地区 (南相馬市小高区)  
(右)鶴谷地区 (南相馬市原町区)

## 林業アカデミーふくしまの研修生に 森林組合のしごとを紹介しました！

令和5年8月21日（月）、林業アカデミーふくしまのカリキュラム「林業経営の基礎」の一環として、就業前長期研修を受講している研修生（16名）に対し、双葉地方森林組合の業務の内容や、就業規定などを紹介しました。これは、産業としての林業を把握していただくとともに、就業先として検討してもらうために実施したものです。

富岡町の森林組合事務所で、組合長や担当者から組織の概要や財務の状況、具体的な仕事の内容をはじめ、就業時間、支給品や給与、各種手当の福利厚生に至るまで、研修生が就職先を選ぶ際に重視するであろうポイントについても説明がありました。また、当所からは双葉地方の森林・林業の現況について紹介しました。研修生は説明に熱心に聞き入り、質疑応答では、今後の事業展開などについて質問するなど、森林組合の業務に興味を持った様子でした。

その後、川内村の小径木加工場に移動して、丸太を真円に加工し、海岸防災林の<sup>せいさがき</sup>静砂垣や、森林作業道の表面排水資材などの製品を製造する工程を見学していただきました。

研修生は、今回の視察を通して実際の職場の雰囲気を感じるとともに、給与や福利厚生などの説明を聞き、就職先としての森林組合をイメージできたようでした。



森林組合の説明に耳を傾ける  
研修生



丸棒加工の見学

当所では、引き続き、双葉地方の森林・林業の復興に欠かせない林業の担い手確保に向け、管内の林業事業体等と連携して取り組んでまいります。

[富岡林業指導所]

## 高校生林業見学会を開催しました！

令和5年11月2日（木）、飯舘村深谷地内のふくしま森林再生事業施工地にて高校生林業見学会を開催し、相馬農業高校環境緑地科1年生（17名）が参加しました。当所職員より森林の手入れについて説明した後、飯舘村森林組合職員より現地の状況や作業方法、林業機械の説明を行っていただきました。その後、実際に高性能林業機械を用いた作業を高校生に見学してもらいました。樹木をチェーンソーで抜倒し、高性能林業機械で玉切りと集材を行い、丸太になる工程を間近で見た高校生たちは、その迫力に圧倒されたようでした。高校生からは「林業も就職先の一つの選択肢となった。」との感想がありました。

当所では、今後も学生が森林・林業と触れ、学習する機会を設け、担い手の確保につなげてまいります。

[森林林業部]



玉切り作業の見学



チェーンソーに触れる高校生

## 「ふくしまの農村学びの場」現場見学会を開催しました！

県では、地域の将来を担う子どもたちに豊かな感性と深い見識を身に付けてもらい、農業・農村に興味を持ってもらうことを目的とする「ふくしまの農育」推進事業の一環として、土地改良施設やほ場整備地区の現場見学会を開催する「ふくしまの農村学びの場」事業を行っています。

10月14日(土)に、南相馬市内の現場を巡る見学会を開催し、一般公募で募った県内在住の小・中学生と保護者(計26名)が参加しました。

はじめに、高平中部地区(ほ場整備地区)において、工事現場を見学した後、バックホウ(重機)の試乗・操作、ドローン空撮、レベル・トータルステーション(測量機器)測量の3班にわかれ、普段なかなか入ることのできない実際の工事現場でそれぞれ体験しました。次の西殿堰(頭首工<sup>※1</sup>)では、頭首工の仕組とともに、二宮尊徳と南相馬市の関係などについても説明を行い、南相馬市の農業の歴史についても理解を深めていただきました。横川ダム(農業用ダム)では、ダム管理者からダム管理の説明を聞きながら、堤体<sup>※2</sup>や取水塔<sup>※3</sup>を見学し、堤体の内部や監査廊<sup>※4</sup>を探検しました。

参加者からは、「重機に乗って、実際に動かすことができて楽しかった。」「測量機器のなかった時代に地図をつくった人たちのすごさが分かった。」「初めての監査廊探検は大変だったけど、楽しかった。」との感想がありました。

今後も、楽しく農業・農村分野に触れてもらう現場見学会などを開催し、子どもたちに農業・農村の魅力を伝えてまいります。

※1 頭首工…河川から農業用水を取水する目的で設置する施設の総称。 ※2 堤体…ダムの本体。

※3 取水塔…水源から、原水をくみ上げるための施設。 ※4 監査廊…堤体内部に設けられた通路。[農村整備部]



重機操作体験



測量機器体験



監査廊探検

## 令和5年度相双地方地区別研修(特用林産)を開催しました！

令和5年10月24日(火)、福島県森林・林業・緑化協会きのか振興センターの古川事務局長を講師に迎え、当所の森林林業部及び富岡林業指導所職員を対象に、特用林産の地区別研修を開催しました。午前中はきのこ生産を手掛けるおおくま未来合同会社(大熊町)に御協力いただき、ふくふくしめじの栽培管理方法の研修を受講しました。研修では、実際のほんしめじ菌床を使用し、ほんしめじ菌床の伏せ込み<sup>※</sup>ときのこを発生させる作業について実習しました。菌

### ふくふくしめじ

栽培が難しいとされる野生のほんしめじを福島県が独自に開発した技術で栽培した品種の愛称のことで、天然のほんしめじと同様の食感・うま味が味わえます。

☆今回の研修で、職員も伏せ込みした菌床はふくふくしめじとして大熊町内の飲食店に卸されるそうです。機会があればぜひ立ち寄って、ご賞味ください。

床ほんしめじ栽培は、低温高湿な環境を維持したハウス内で行われ、菌床の乾燥状態を見極めながら散水することが求められます。今回は、実習を通し、発生管理の難しさについて理解を深めることができました。午後は(有)遠藤きのこ園（川内村）に御協力いただき、菌床きのこ栽培研修を受講しました。同園は栽培ハウス 26 棟と培養室 4 棟を有し、自社で菌床の製造から栽培までを手掛けています。しいたけやきくらげ、ひらたけ、なめこ、まいたけ等を生産しており、しいたけは県内外の各種品評会でも受賞されています。研修では遠藤代表取締役から菌床栽培きのこの各製造工程で使用される生産資材や施設、培養・発生工程でのハウスの温湿度管理、菌床栽培の発生操作等について説明を受けました。職員は質問等を交えながら見学し、高品質なきこの栽培技術を学びました。



菌床ほんしめじについて説明を受ける職員



様々な菌床の見学（遠藤きのこ園）

引き続き、管内の栽培きのこの生産振興に向けて、職員も最新の生産技術を身につけながら、生産者指導等に取り組んでまいります。

※伏せ込み…菌床全体に菌を行き渡らせる培養操作。 [富岡林業指導所]

## そうそう・地域産業6次化推進会議を開催しました！

令和5年8月25日（金）に、浮舟文化会館（南相馬市小高区）にて、当地域の6次化推進を目的に「そうそう・地域産業6次化推進会議」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で近年は書面開催が続いておりましたが、4年ぶりに対面開催となり、相双地域の市町村、JA、商工会議所などが参加しました。



会議の様子

会議では、当所より6次化に関する取組と6次化関連事業、県産品加工支援センターより6次化に関連した事業内容、県農林企画課より県農林水産業振興計画について説明しました。意見交換においては、加工施設整備支援への要望や、6次化の取組拡大に係る支援内容の質問などが出されました。

当会議で出された意見等を踏まえ、各関係機関と連携しながら、相双地方における、より一層の6次化推進に向けて支援を続けてまいります。

### 令和5年度の6次化に関する主な取組

6次化支援体制図の作成

そうそう・6次化ラボ（人材育成事業）の実施

そうそう・6次化商品注文販売会の実施

そうそう・6次化ネットワーク※交流会の開催

### ※そうそう・6次化ネットワーク会員を募集しております！

本ネットワークは、相双地域で6次化に取り組まれる事業者の方を応援する会員制の組織で、会員同士の交流機会の創出、各種情報提供、相談受付などを行っています。登録料や年会費などは無料です。

【 申込・問合せ先 】 福島県相双農林事務所 企画部 地域農林企画課（6次化担当）

☎ 0244-26-1153 (FAX : 0244-26-1181) ✉ kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp

[企画部]

## 『親子で学ぶ農林水産業見学体験ツアーin 檜葉』を開催しました！

令和5年9月10日（日）に、小学生とその保護者を対象とした日帰りバスツアーを開催し、9組20名に参加いただきました。本ツアーは、生産者の皆さんとの交流や収穫体験などを通じ、双葉地方の農林水産物に対する安心を深めてもらうとともに、農林水産業の再開状況などについて、参加された親子に理解してもらうことを目的に実施しているものです。

参加者からは、「農林水産業に携わる方々にパワフルな印象を受けた。」「もっと相双地域を知りたくなった。」と好評の声をいただきました。

当所では、引き続き、県産農林水産物の魅力と安全性についてPRを図ってまいります。

<p>檜葉町甘藷貯蔵施設</p>	<p>木戸川漁業協同組合</p>	<p>花き生産者の農園</p>	<p>(株) ナラハプラントファクトリー</p>
			
<p>— 実施内容 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株) 福島しろはとファームの取組の説明</li> <li>・農業用機械の試乗体験</li> </ul>	<p>— 実施内容 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木戸川におけるアユのモニタリング検査解除までの取組等の説明</li> <li>・アユ投網漁の実演を見学</li> </ul>	<p>— 実施内容 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプレーギク栽培の説明</li> <li>・キク栽培ハウス見学</li> </ul>	<p>— 実施内容 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマトの養液栽培の説明</li> <li>・トマトの収穫体験</li> <li>・トマトの試食</li> </ul>

[企画部]

## 運転技術講習会を開催しました！

令和5年10月11日（水）、12日（木）の2日間、南相馬市内の教習所にて「運転技術講習会」を開催しました。本講習会は、若手職員の運転技術や安全運転意識の向上を目的としており、10名の職員が参加しました。

講習会では、教習所指導員による座学、運転実技講習及び適性検査が行われました。

今後も交通ルールを遵守しながら、引き続き日々の業務に励んでまいります。

[総務部]



運転技術講習



適正検査を受ける職員

### 講習会内容

- 1 座学
  - …飲酒運転をテーマに飲酒が身体に及ぼす影響や飲酒運転により起こりやすい事故例など。
- 2 運転実技講習
  - …実際に教習所内を運転し、参加者の運転の癖や注意すべきポイントについての確認。
- 3 適性検査
  - …参加者ごとの性格分析を行い、運転時の留意事項をフィードバック。

	A	B	C	D	E
5	安全運転タイプ			重大事故タイプ	
4	安全運転タイプ				
3	要注意タイプ				
2	もらい事故タイプ		事故違反多発タイプ		
1	もらい事故タイプ		事故違反多発タイプ		

適正検査では、安全運転度、運転適正度の結果に基づいて5つのタイプ（左表）に分けられました。  
 運転適正度：1～5  
 安全運転度：A～E

# 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました！

当所では、地産地消を促進し、風評払拭を図るため、県産農林水産物のおいしさや魅力を発信する「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを10月までに2回実施しました。

キャンペーンでは、GAP\*や新しい営農の取組等の説明とともに、キャンペーン内容に関するアンケート調査を行いました。また、実際に県産農林産物を味わっていただくため、キャンペーンに参加いただいた方に県産農林産物をプレゼントしました。アンケートには、「できるだけGAP商品を買いたいと思った！」、「安全安心のためにはとても良い取組だと思います！」、「安心・安全な野菜作りに熱心に取り組んでおられるのが分かって良かったです。」などといった感想が寄せられました。

引き続き、皆様からいただいた意見をいかし、地産地消に向けた取組を推進してまいります。  
 ※GAP (Good Agricultural Practices) …持続的な農業を行うために「食品安全」、「環境保全」、「労働安全」などの観点から、農業生産工程に潜むリスクを管理する取組のこと。

## 第1回キャンペーン

- 実施日：令和5年8月26日（土）
- 実施場所：(株)ヨークベニマル原町西店
- 説明内容：GAPや県内のGAPの取組等について
- 参加人数：250人
- 配布農産物：お米（南相馬市産）、日本なし（南相馬市産）、バナナ（広野町産）、フリルレタス（川内村産）

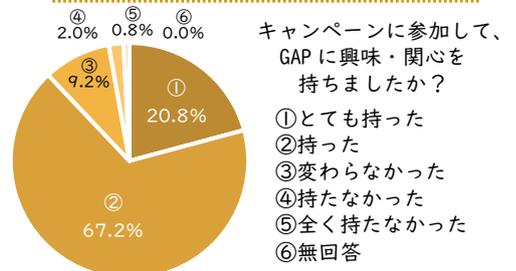
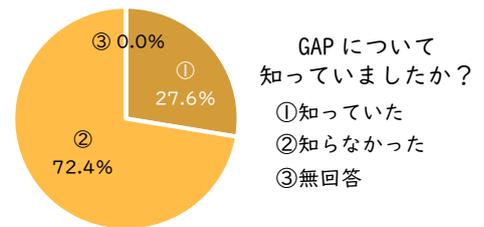


GAPについての説明



アンケート調査

### アンケート結果



## 第2回キャンペーン

- 実施日：令和5年10月7日（土）
- 参加イベント：ふたばワールド2023in おおくま
- 説明内容：県産農林産物の魅力や安全性、新たな営農の取組等について
- 参加人数：376人
- 配布農産物：ピーマン（川内村産）、しいたけ（川内村産）、さつまいも（檜葉町産）

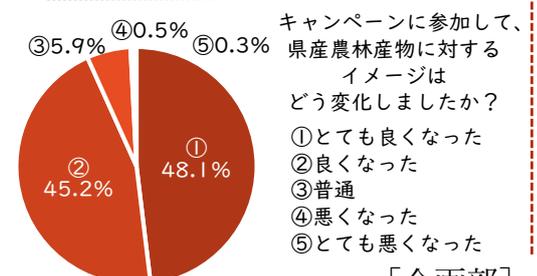
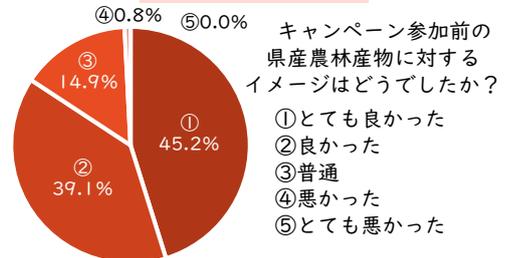


農業の取組の紹介



農林産物の配布

### アンケート結果

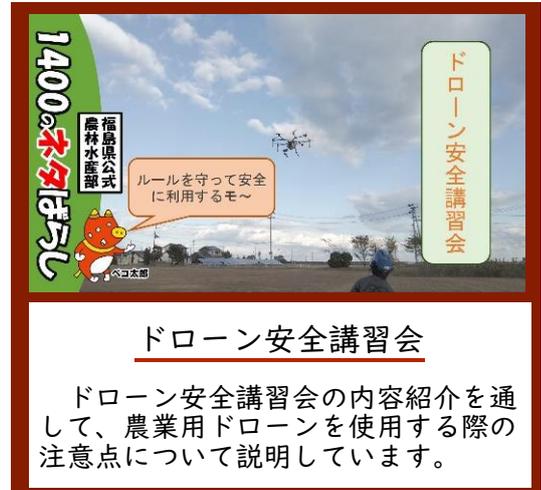


[企画部]

## お知らせ

### ●農林水産部公式 YouTube チャンネル●

福島県農林水産部では、「福島県農林水産部公式 YouTube チャンネル」を開設し、『1400のネタばらし』と題して、農林水産部職員が企画・制作した動画を投稿しております。11月に当所が作成した動画が公開されましたので、ぜひ御覧ください！



#### ドローン安全講習会

ドローン安全講習会の内容紹介を通して、農業用ドローンを使用する際の注意点について説明しています。

### ●農作物の出荷制限について●

福島第一原子力発電所事故の影響で農林水産物の摂取・出荷制限指示が出されています。摂取や出荷に当たっては、『摂取や出荷等を差し控えるよう要請している福島県産の食品について（ふくしま復興ステーションHP内 <https://www.new-fukushima.jp/storage/pdf/subject.pdf>）にて、**摂取・出荷制限指示の有無の確認**をお願いいたします。農作物の出荷制限についてのお問い合わせは、下記まで御連絡ください。

【相馬地方】※1 → 農業振興普及部 経営支援課 ☎ 0244-26-1151

【双葉地方】※2 → 双葉農業普及所 経営支援課 ☎ 0240-23-6474

※1 相馬市、南相馬市、新地町、飯館村 ※2 広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村

## 12月初旬は...

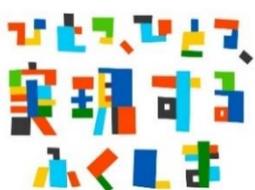
## 七十二候『橘始黄』(第六十候)

たちばなはじめてきばわ

柚子

橘とは、ミカン科の常緑小高木のことですが、柑橘類の総称でもあります。12月初旬は、柑橘類が黄色に色づき始めるころです。

相双地方においても、広野町でみかん、楡葉町で柚子が、町のシンボルとして生産されています。免疫力を強化するビタミンCを含む柑橘類は、寒さなどから体調を崩しやすい冬にぴったりの果物です。また、これから旬を迎える大根などを活用したレシピが「ふくしま健康応援メニュー」としてHPに掲載されていますので、是非参考に御覧いただき、健康にも気を付けながら、冬の味覚を味わってみてはいかがでしょうか。



### 福島県相双農林事務所

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地

Tel : 0244-26-1153 Fax : 0244-26-1181

E-mail : kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36260a/>

